



**HONDA**  
Honda Mobilityland



Honda Mobilityland

# Sustainability and Economy Report 2024



**HONDA**  
Honda Mobilityland

## 第1章

# Honda Mobilityland概要

ホンダモビリティランド株式会社は、鈴鹿サーキット、モビリティリゾートもてぎの2つのレーシングコースを有する総合アミューズメント施設を運営し、モータースポーツイベントの開催と幅広いモビリティ関連事業を運営しています。1961年の創業以来、モビリティ文化の醸成とモータースポーツ振興、人材育成の実践フィールドとして歩んでいます。

### contents

第1章  Honda Mobilityland 概要

第2章  FORMULA 1 JAPANESE GRAND PRIXのサステナビリティ

第3章  FORMULA 1 JAPANESE GRAND PRIXの経済波及効果



## 鈴鹿サーキット

1962年、日本初の本格的なレーシングコースとして誕生し、モータースポーツの発展に貢献し続けてきました。モータースポーツを核にしたエンターテインメントを提供し子どもから大人まで、世界中の人を惹きつけ、モビリティによる「感動」を提供します。

### 主なレース

FORMULA 1 MSC CRUISES  
JAPANESE GRAND PRIX 2024

2024 FIM 世界耐久選手権「コカ・コーラ」  
鈴鹿8時間耐久ロードレース 第45回大会

など



### 主な施設



#### 鈴鹿サーキットパーク

3歳から一人で操ることができるアトラクションが豊富な、乗り物がテーマの遊園地です。乗り物を自ら操る体験を通して親子で成長を実感できます。



#### 交通教育センター

交通安全の基本は人である「人間教育」のテーマのもと、知識・技能・経験をひとつにした心のスキルアップを目標に、安全運転教育に取り組んでいます。

## モビリティリゾートもてぎ

1997年、人と自然とモビリティの融合をテーマにオープン。レーシングコースに加え、自然体験施設や安全運転普及施設を備え持つモビリティリゾートもてぎは、自然豊かな環境を活かしたアクティビティと持続可能性の両立によってモビリティ文化の創造とさらなる発展を目指します。

### 主なレース

2024 FIM MotoGP™ 世界選手権シリーズ  
第18戦 日本グランプリ

2024 Hertz FIM トライアル世界選手権  
第1戦 大成ロテック日本グランプリ

など



### 主な施設



#### ハローウッズ

42ヘクタールの森で、さまざまな「遊び」と「学び」を体験できます。植物や昆虫などの生き物を観察する自然フィールドや、森の自然素材を使った工房、熱気球など、親子で楽しめる自然体験プログラムが充実しています。



#### 森と星空のキャンプヴィレッジ

四季を通じて自然の中でくつろぎ、極上のアウトドアが楽しめるグランピング施設です。

6 SAI  
7 HAM  
8 RUS  
9 TSU  
10 ALO



Lenovo Smarter technology for all Lenovo

# RESPONSIBLE CIRCUIT

100分の1秒を削るために、日夜挑み続けるドライバーやライダー、チームスタッフ。  
サーキットで起こるドラマに魅了される、多くのモータースポーツファン。  
この場に集まる人だけでなく、モータースポーツを愛する全ての人たちが、  
レースを楽しみながら、レースが続けられる未来を願っています。

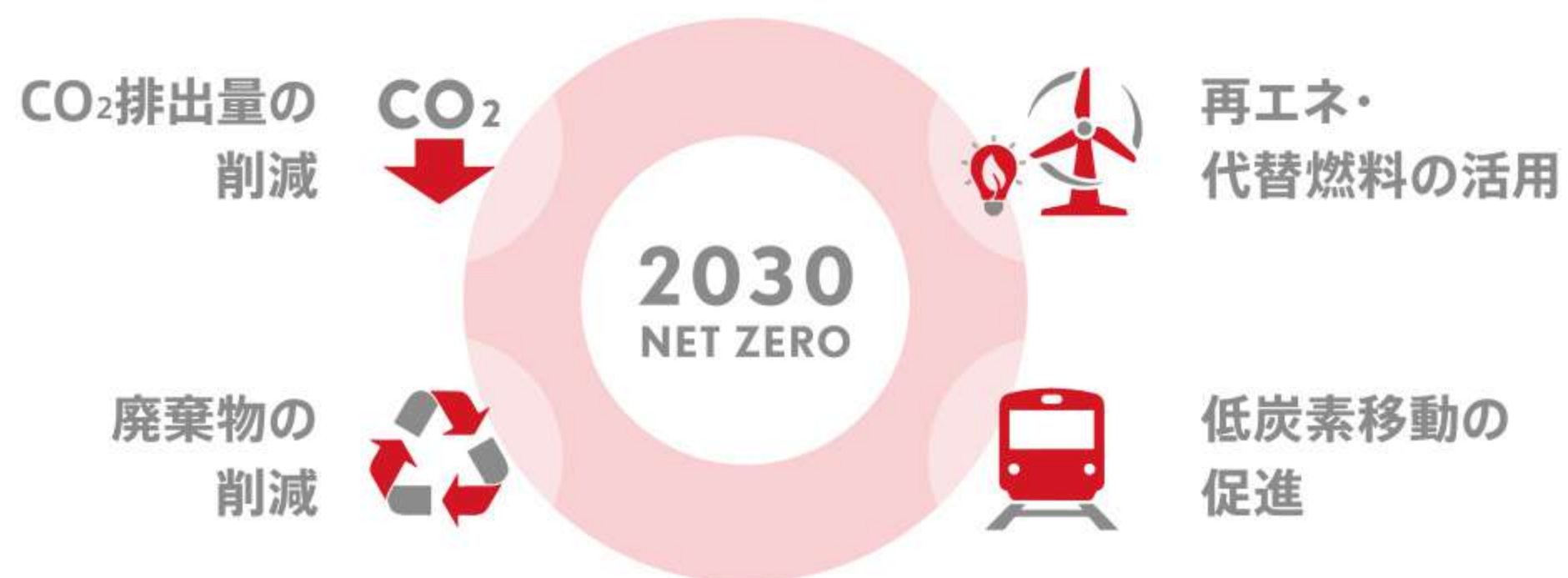
その未来は、モータースポーツに関わる人たちが同じ思いで行動することで、より確かになっていきます。  
そしてモータースポーツを愛する私たちだからこそ、実現できると信じています。

経済的な豊かさと環境負荷の低減をモータースポーツ事業を通じて達成すること。  
それがホンダモビリティランドの責任であると考えます。  
このサーキットが、日本のモータースポーツの持続可能性を高めていきます。



# 持続可能な未来づくりへ

ホンダモビリティランドは、モビリティ文化の醸成とモータースポーツ振興、人材育成の実践フィールドを活かして、地球環境や社会課題への対応に取り組めます。



## カーボンニュートラルに向けて

中核事業であるモータースポーツイベント開催に関わる温室効果ガスの排出量削減に取り組み、2030年にカーボンニュートラルを目指します。



### 国際自動車連盟 (FIA) 環境認証プログラム 2つ星を獲得

FIA環境認証プログラムは、世界中のモータースポーツと自動車産業のステークホルダーの環境対応を格付けするプログラムです。2023年に鈴鹿サーキットは「環境配慮に対して優れた活動を行い、環境マネジメントにおいては国際的なロードマップに即することが期待できる」として、常設サーキットではアジア初の2つ星を獲得しました。そして2025年には最上位となる3つ星の獲得を目指します。



### 三重県SDGs 推進パートナー

鈴鹿サーキットは三重県において持続可能な社会の実現に向けた取組を広げていくことを目的とした「三重県SDGs推進パートナー」に登録されました。



### 30by30 自然共生サイト

2023年にモビリティリゾートもてぎは、環境省の定める生物多様性の保全区域「自然共生サイト」として認定を受けました。自然共生サイトは「民間の取組等によって生物多様性の保全が図られている区域」を国が認定するものであり、認定区域はOECM\*として国際データベースに登録されます。

\*Other Effective area-based Conservation Measuresの略。民間等の取組みにより保全が図られている地域や、保全を目的としない管理が結果として自然環境を守ることに貢献している地域



### とちぎSDGs 推進企業

2023年、モビリティリゾートもてぎは、トライアル世界選手権、MotoGP™においてSDGs達成に向けた取組を推進する「とちぎSDGs推進企業登録制度」に登録されました。

# 第2章 FORMULA 1 JAPANESE GRAND PRIXのサステナビリティ

## F1® Net Zero by 2030

F1®はグループ全体で、2030年までにCO<sub>2</sub>などの温室効果ガスをネットゼロにする計画を2019年に発表しました。

※主要なスポーツ連盟や世界的なスポーツイベントが2040年のカーボンニュートラルを目指している中、F1®は先駆けて2030年での実施を目指しています。



# F1®は世界を巡る モータースポーツの頂点

- ✓ モータースポーツの頂点に位置し、世界中で人気急拡大している世界選手権
- ✓ 30回以上開催しているGrand Prix™は、アジアでは鈴鹿サーキットのみ
- ✓ F1®は日本企業も数多く参画し、日本の技術・ブランディングの発展に貢献



## 2023年 F1® 世界選手権は21国で全22戦を開催

	グランプリ	開催日	サーキット
Race 1	BAHRAIN GRAND PRIX	3/3-3/5	BAHRAIN INTERNATIONAL CIRCUIT
Race 2	SAUDI ARABIA GRAND PRIX	3/17-3/19	JEDDAH CORNICHE CIRCUIT
Race 3	AUSTRALIA GRAND PRIX	3/31-4/2	ALBERT PARK CIRCUIT
Race 4	AZERBAIJAN GRAND PRIX	4/28-4/30	BAKU CITY CIRCUIT
Race 5	MIAMI GRAND PRIX	5/5-5/7	MIAMI INTERNATIONAL AUTODROME
Race 6	EMILIA-ROMAGNA GRAND PRIX※	5/19-5/21	AUTODROMO ENZO E DINO FERRARI
Race 7	MONACO GRAND PRIX	5/26-5/28	CIRCUIT DE MONACO
Race 8	SPAIN GRAND PRIX	6/2-6/4	CIRCUIT DE BARCELONA-CATALUNYA
Race 9	CANADA GRAND PRIX	6/16-6/18	CIRCUIT GILLES-VILLENEUVE
Race 10	AUSTRIA GRAND PRIX	6/30-7/2	RED BULL RING
Race 11	BRITISH GRAND PRIX	7/7-7/9	SILVERSTONE CIRCUIT
Race 12	HUNGARY GRAND PRIX	7/21-7/23	HUNGARORING
Race 13	BELGIUM GRAND PRIX	7/28-7/30	CIRCUIT DE SPA-FRANCORCHAMPS
Race 14	DUTCH GRAND PRIX	8/25-8/27	CIRCUIT ZANDVOORT
Race 15	ITALY GRAND PRIX	9/1-9/3	AUTODROMO NAZIONALE MONZA
Race 16	SINGAPORE GRAND PRIX	9/15-9/17	MARINA BAY STREET CIRCUIT
Race 17	JAPANESE GRAND PRIX	9/22-9/24	SUZUKA INTERNATIONAL RACING COURSE
Race 18	QATAR GRAND PRIX	10/6-10/8	LUSAIL INTERNATIONAL CIRCUIT
Race 19	UNITED STATES GRAND PRIX	10/20-10/22	CIRCUIT OF THE AMERICAS
Race 20	MEXICO GRAND PRIX	10/27-10/29	AUTÓDROMO HERMANOS RODRÍGUEZ
Race 21	BRAZIL GRAND PRIX	11/3-11/5	AUTÓDROMO JOSÉ CARLOS PACE
Race 22	LAS VEGAS GRAND PRIX	11/16-11/18	LAS VEGAS STRIP CIRCUIT
Race 23	ABU DHABI GRAND PRIX	11/24-11/26	YAS MARINA CIRCUIT

※悪天候により中止

# サステナブルな Grand Prix™ へ

JAPANESE GRAND PRIXはファンや関係者の皆様と共に、モータースポーツを楽しみながら持続可能性を高める、集客スポーツの新しい形に挑戦します。

## 4つの視点

- ファンの移動 > 13P
- エネルギー > 16P
- 廃棄物 > 17P
- 地域社会 > 18P



2024春開催

F1®が世界を転戦する際に発生する温室効果ガスの削減に向けて、ホンダモビリティランドは高効率なロジスティクスを実現する開催日程への変更を協力するために、2024年からJAPANESE GRAND PRIXの開催スケジュールを4月に変更しました。

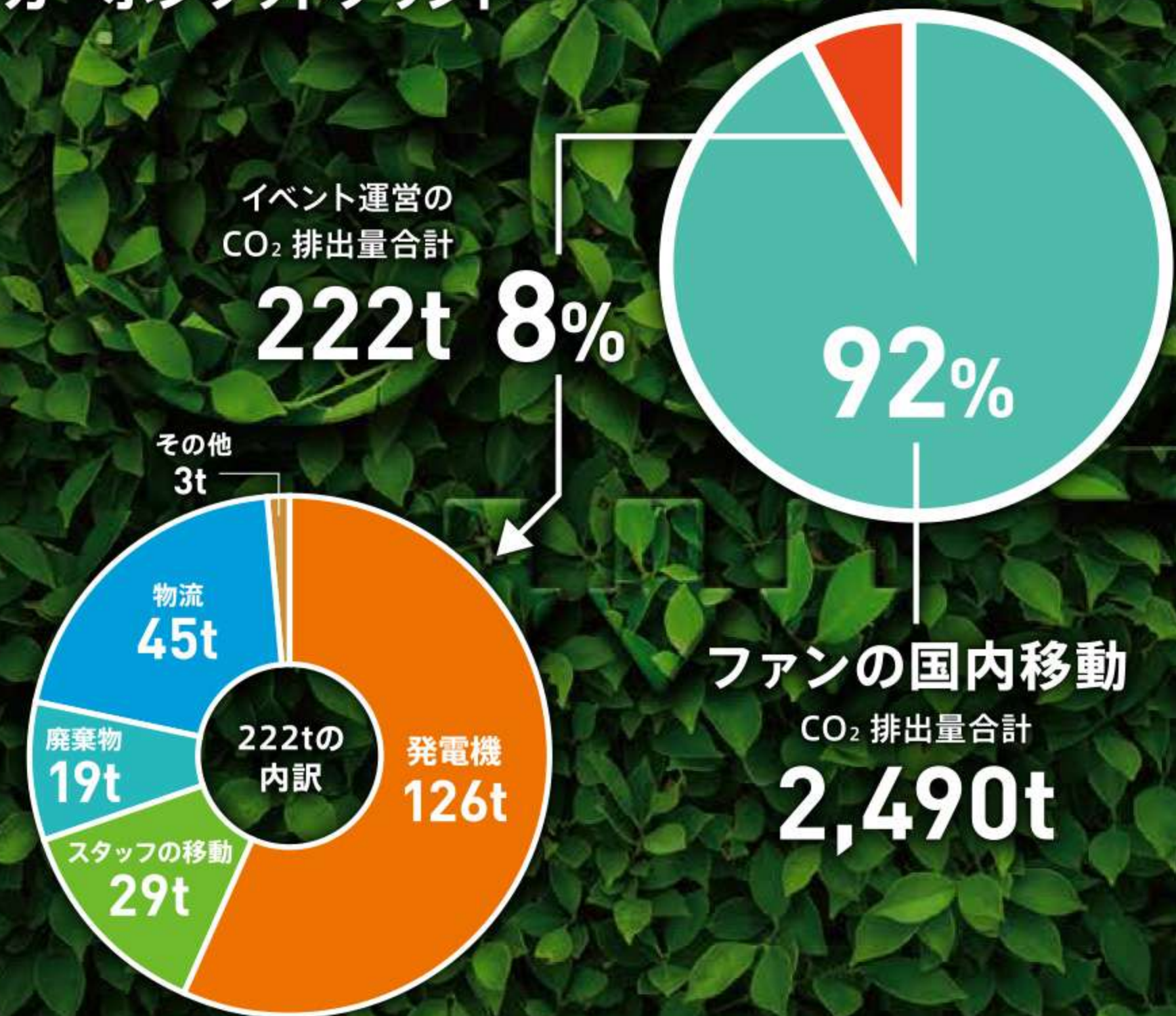
## CO<sub>2</sub>排出量に占める割合

# 92%

JAPANESE GRAND PRIXでは、レース開催によるCO<sub>2</sub>排出量を調査し、ファンの移動が大きく影響していることが分かりました。

JAPANESE GRAND PRIXでは開催に伴う温室効果ガスの排出量を把握しています。

### 2023 JAPANESE GRAND PRIX カーボンフットプリント

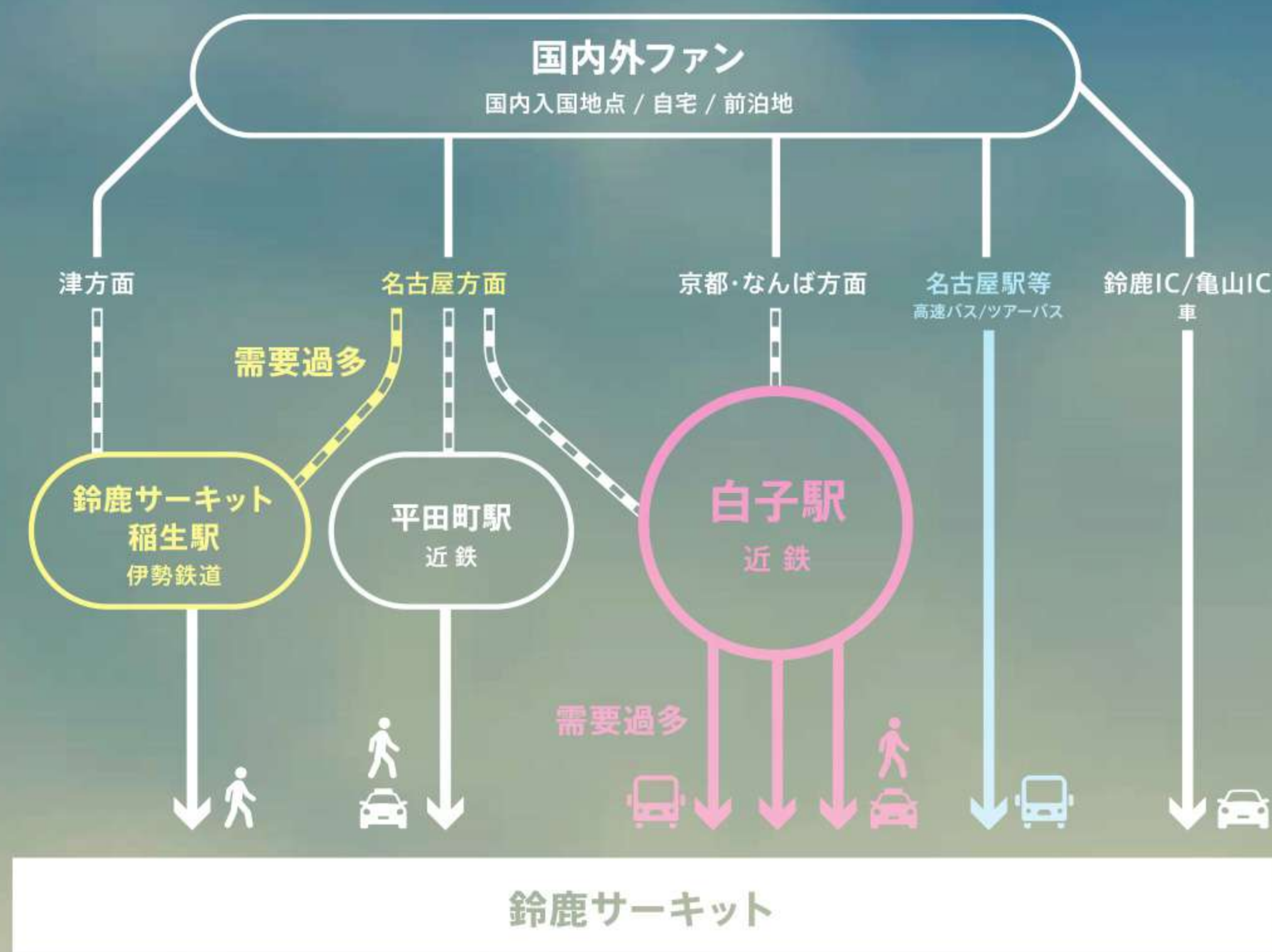


※2023年の取り組み: 非化石証明書(470MWh) ▲216t  
HVO 燃料 (12.8KL) ▲33t

公共交通機関の利用を促すことで、CO<sub>2</sub>排出量の低減を目指しています。

# ファンの移動の把握

CO<sub>2</sub>排出削減に向けた公共交通機関の利用促進において、お客様の需要とサービス供給の均衡を保つ取り組みを行っています。



公共交通機関の輸送力を高めることで、改善していきます

- ✓ 名古屋方面から鈴鹿サーキット稲生駅までの輸送
- ✓ 白子駅から鈴鹿サーキットまでの臨時シャトルバス輸送
- ✓ 主要駅(名古屋駅、新大阪駅、京都駅、津駅、亀山駅)からの直行バス輸送

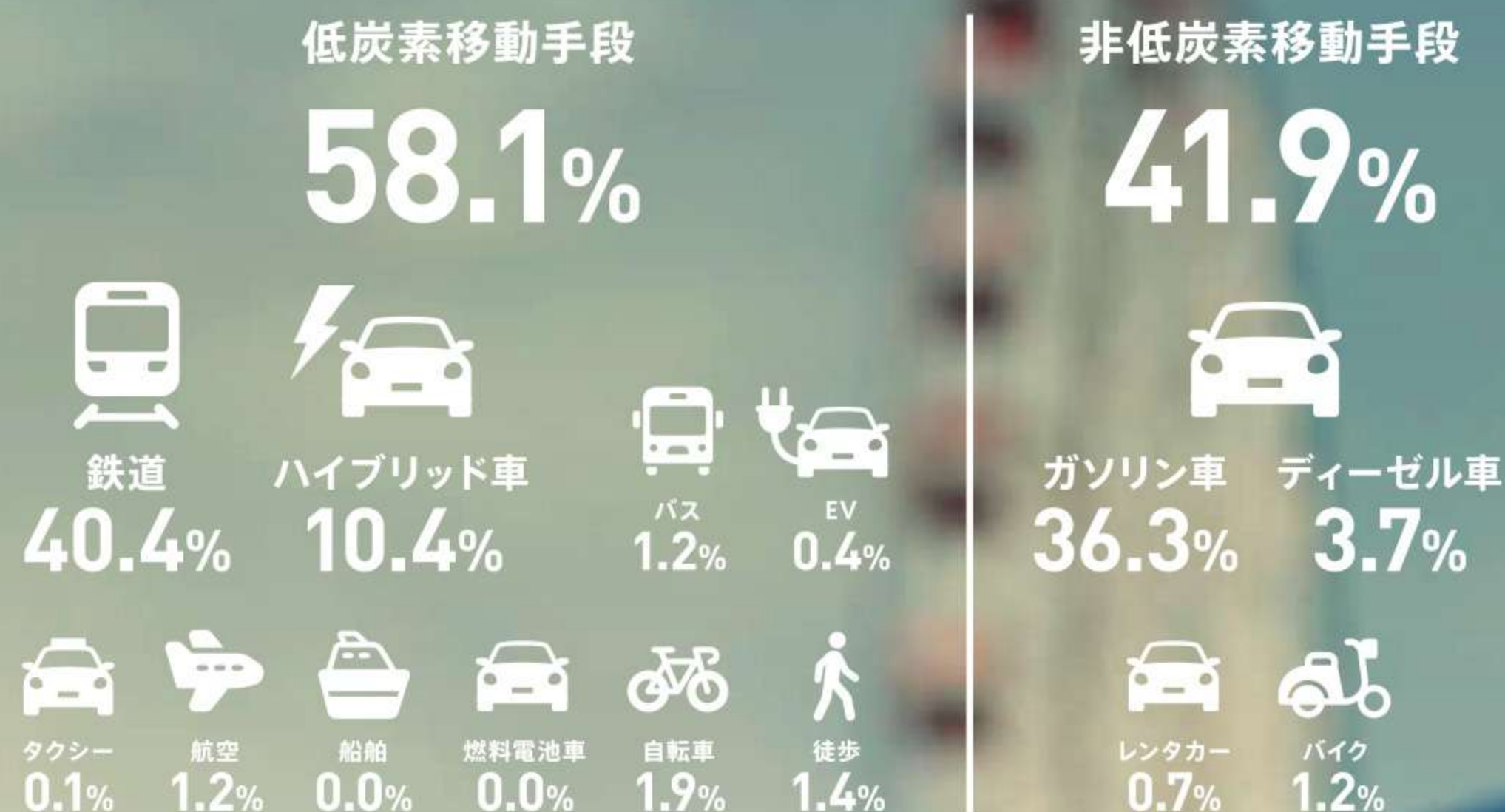
## 交通手段

# 36 団体と連携

国や自治体、公共交通機関など36団体で構成される、鈴鹿F1®日本グランプリ地域活性化協議会と協力し、カーボンオフセットに貢献できる取り組みを推進しています。

自宅又は入国地点から鈴鹿サーキットまでのインバウンドを含む主な交通手段

(2023 JAPANESE GRAND PRIX 来場者アンケート)



### 鈴鹿F1®日本グランプリ地域活性化協議会



※鈴鹿F1®日本グランプリ地域活性化協議会は、鈴鹿市をはじめ官民36団体から構成され、F1®開催の影響を最小化し、観戦に訪れた方々が快適に楽しめるよう、様々な取り組みを進めています。



# モータースポーツエリアの 常用電力再生可能エネルギー

# 100%

主要なモータースポーツイベントにおいて、CO<sub>2</sub>フリーのグリーン電気を使用しています。  
JAPANESE GRAND PRIXでは、エネルギー消費量を削減し、  
2030年までに全ての電力を再生可能エネルギー100%にすべく、取り組んでいます。

JAPANESE GRAND PRIX  
CO<sub>2</sub>フリー電気購入

# 470,490kWh

※準備期間含む22日間

ホンダモビリティランドでは、  
主要なモータースポーツイベントに関する  
電力分としてCO<sub>2</sub>フリー電気を使用しています。

〈鈴鹿サーキット〉  
CO<sub>2</sub>フリー電気 950,490kWh/1年

〈モビリティリゾートもてぎ〉  
CO<sub>2</sub>フリー電気 467,000kWh/1年



Non-fossil certificate (950MWh/year)

# パドックでの HVO燃料使用率 21%

☑ HVO燃料とは

水素化植物油 (Hydrotreated Vegetable Oil) と呼ばれる  
化石資源なしで生産可能なバイオ燃料です。

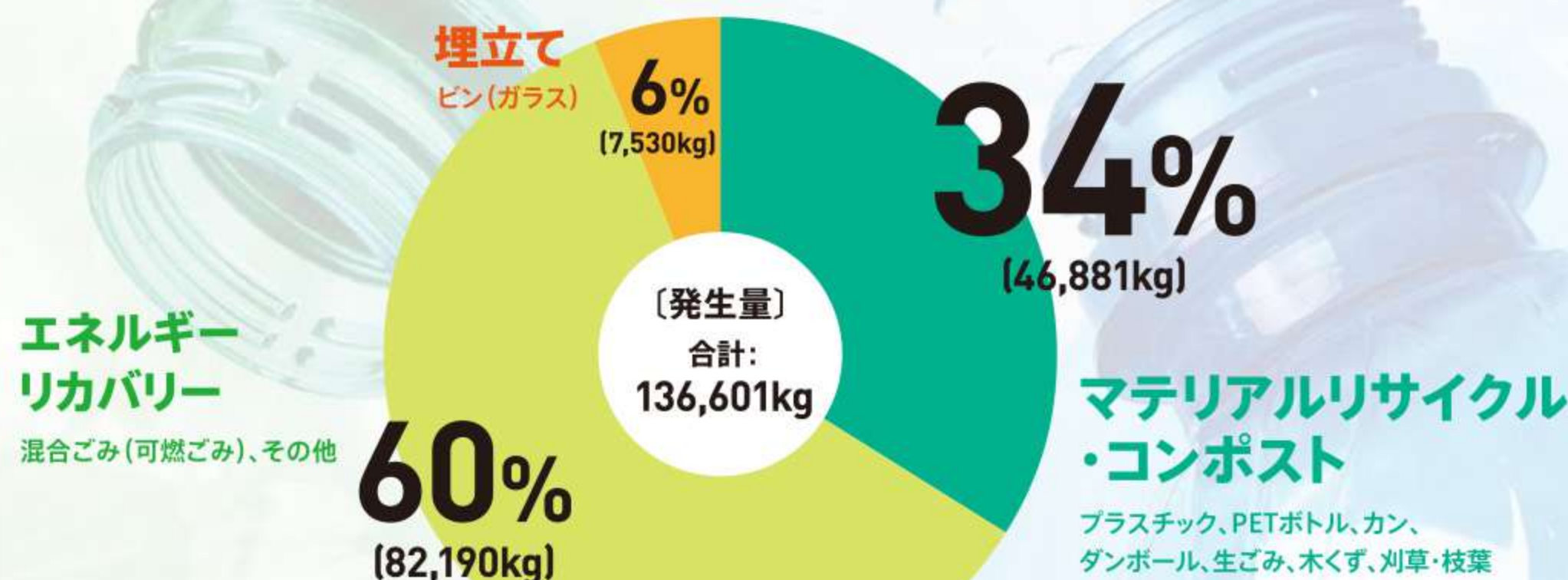


# 資源リサイクル

# 34%

使い捨てプラスチックの提供ゼロと、分別によるリサイクル率の向上に取り組んでいます。

2023年のJAPANESE GRAND PRIXに関して廃棄物の発生状況及び  
リサイクルの実施状況を把握しました。



エリア別の発生量 (kg)

エリア	分別収集区分	発生量	処理方法
パドック	混合ごみ(可燃)	34,510	熱回収
	プラスチック	700	リサイクル
	PETボトル	150	リサイクル
	カン	-	リサイクル
	ビン(ガラス)	7,530	埋立て
	ダンボール	13,290	リサイクル
	木くず	1,870	リサイクル
	生ごみ	3,490	堆肥化
	その他	18,610	熱回収等
	合計	80,150	
モータースポーツ エリア(パドック除く) 及びパークエリア	混合ごみ(可燃ごみ)	29,070	熱回収
	プラスチック	100	リサイクル
	PETボトル	1,611	リサイクル
	カン	2,560	リサイクル
	ビン(ガラス)	-	埋立て
	刈草・枝葉	23,110	リサイクル
	その他	-	熱回収等
	合計	56,451	
全エリア	合計	136,601	

# JAPANESE GRAND PRIX取引実績

# 347企業

地元の企業との取引を積極的に行うとともに、  
地元の素材を活用したオリジナル商品を開発しています。

## 2023年取引実績

【企業数】

全体 **347** 企業/団体

三重県 **237** 企業/団体

※三重県一県内に営業拠点が所在している企業

【取引高】

全体 **1,086** 百万円

三重県 **427** 百万円

※三重県一県内に営業拠点が所在している企業

## 三重県産品の活用例

・地元企業との  
コラボ商品



・三重県産材料  
(県産コシヒカリ、あおさのり) 使用



# 小学生チームと児童の交流人数

# 363名

地元の小学生を招待し、チームとの交流を実施しています。

## 2023年実施内容

チームとの交流を通じてモータースポーツの魅力に触れ、  
地域産業への理解と興味喚起を行います。

児童は事前課題としてF1®について授業で調べ、  
チーム代表やドライバーに質問することによって学習していきます。



### 参加小学校

鈴鹿市立庄野小学校

鈴鹿市立白子小学校

鈴鹿市立稻生小学校

鈴鹿市立明生小学校

鈴鹿市立天名小学校

主催：鈴鹿市、鈴鹿F1®日本グランプリ地域活性化協議会

# フードバンク団体を通じた寄付

# 3トン

## 2023年実施内容

三重県が管理するフードバンク団体への提供事業者に登録したホンダモビリティランドは、各チームやホスピタリティエリアのキッチンより回収した余剰食品(約3トン)を周辺4市のフードバンク団体(7団体)を通じて、こども食堂などに寄付しました。



# JAPANESE GRAND PRIXでは、 学生のインターンシップを受け入れ、 グローバルイベントに関わる機会を提供しています。

### 一般公募によるインターンシップ

〈内容〉 ファンゾーン内インフォメーション・販売ブーススタッフ業務、イベント企画、ワークショップを通じたグローバルイベントの理解促進

〈参加者〉 国内大学生 5名

### 三重大学との産学連携協定に基づいたインターンシップ

〈内容〉 チームや関係者からの問い合わせ対応、職員の補助

〈参加者〉 三重大学生 5名

### 鴻巣塾主催の神田外語学院のインターンシップ

〈内容〉 外国人来場者のアテンド・インタビュー

〈参加者〉 学生10名



# 第3章 FORMULA 1 JAPANESE GRAND PRIXの経済波及効果

## 世界的企業の参画と影響力

F1®には、10のグローバルパートナー企業に加え、ローカルパートナーなど多数の企業が参画し、地域経済や自動車産業に大きな影響を与えています。



## F1® グローバルパートナー



## 2023シーズン累計視聴者数

# 15.4 億人

2023  
F1®ファン数

7 億人



☑ 女性ファンが 40%

2023

累計現地来場者数

597 万人



☑ 2022 568 万人から +29 万人アップ

2023

SNSフォロワー数

7000 万人



☑ 2022 6000 万人から +1000 万人アップ

2023

WEB・APPユーザー

1.06 億人



2023

放送エリア

185 カ国



## JAPANESE GRAND PRIXは 人気投票で 世界TOP5にランクイン



イタリア  
Italia



ベルギー  
Belgium



イギリス  
UK



モナコ  
Monaco



日本  
Japan

2021年に世界187カ国  
167,302名を対象に行われた  
F1®のマーケティングレポート

出典: FORMULA 1® in 2021 Management Report(motorsports NETWORK), P.24  
<https://cdn-1.motorsport.com/survey/2021/2021-f1-global-fan-survey-motorsportnetwork.pdf>



# JAPANESE GRAND PRIXの観客総動員数

# 延べ850万人



■ 金曜 ■ 土曜 ■ 日曜  
※ 2019年は台風により、土曜日が中止となり、公式予選が日曜午前中に開催された。  
 ※ 2020年、2021年は新型コロナウイルス感染拡大のため非開催

# JAPANESE GRAND PRIXの海外観戦客

# 6.7倍

日本のインバウンド観光需要の拡大もあり、  
今後も海外からの観戦者の拡大が期待されます。

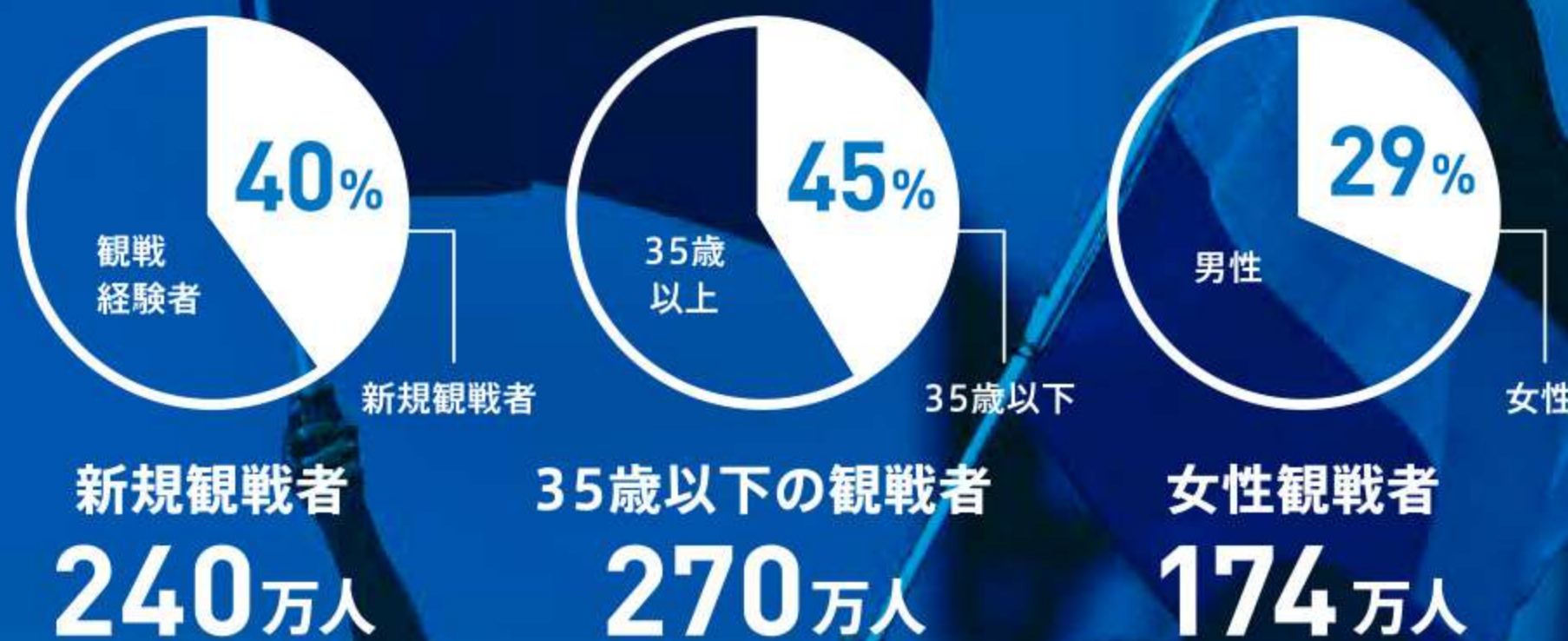
## 海外からの観戦客数

2023 約40,000名  
▲  
2022 約6,000名

6.7倍  
に増加!

## F1®全体の新規観戦者

F1®のレース観戦者数 約600万人中

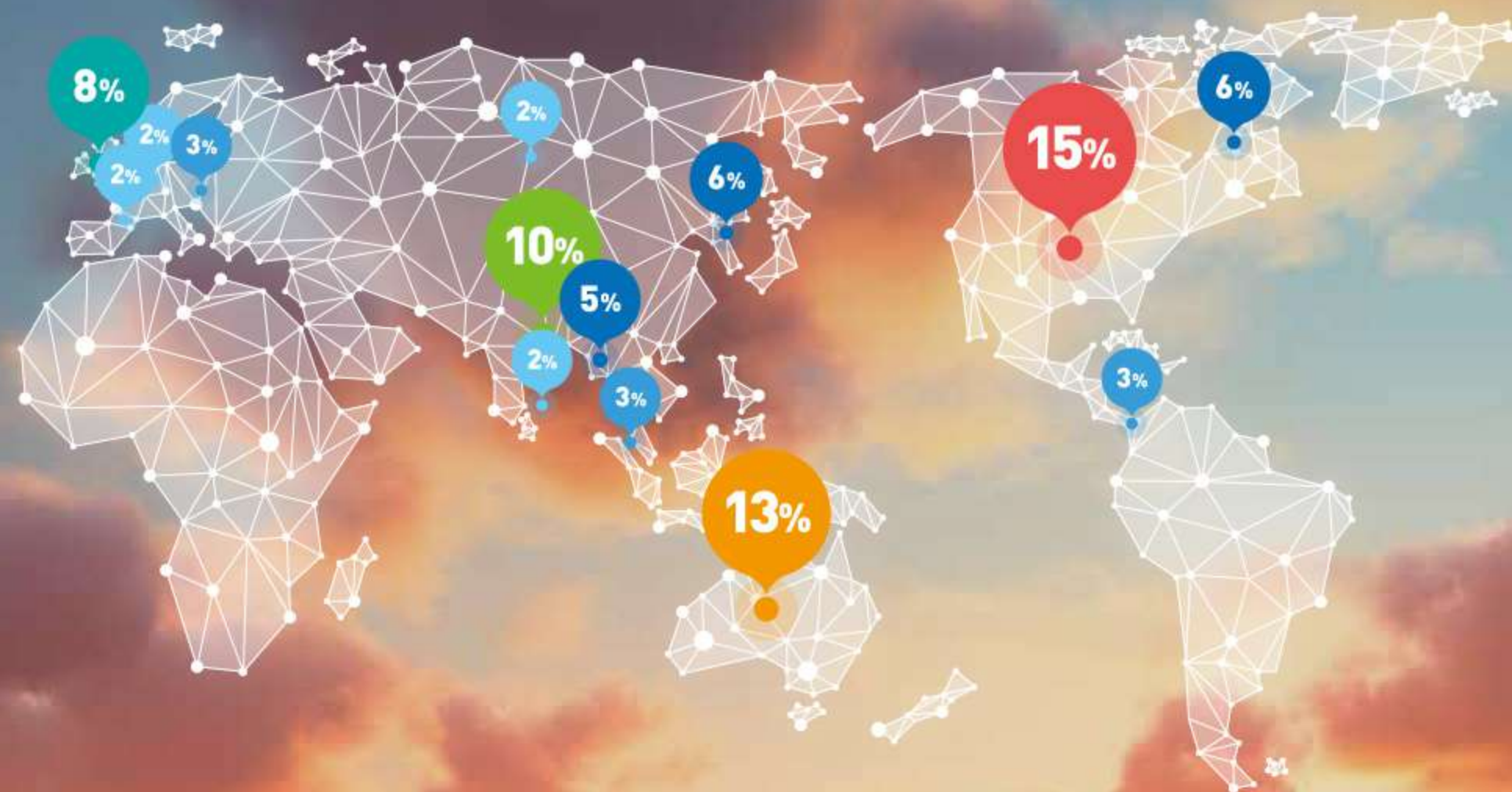


[JAPANESE GRAND PRIX年代別最多来場形態]

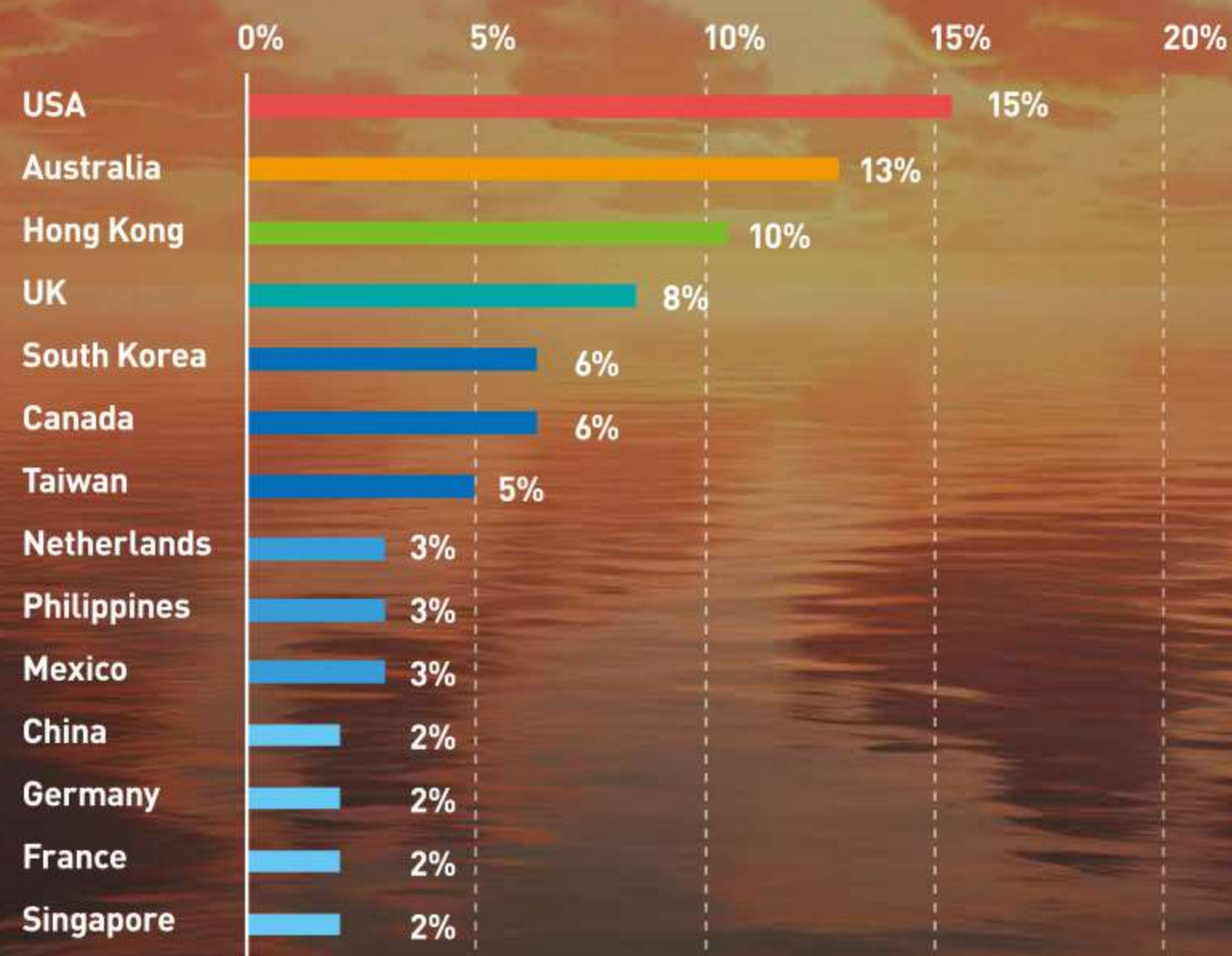
22歳以下: 友人/同僚 23歳~30歳: 友人/同僚 31歳~40歳: 家族  
41歳~50歳: 家族 51歳以上: パートナー

# アジア・アメリカから注目される JAPANESE GRAND PRIX

F1®の世界的な人気拡大にともない北米・東アジア・オセアニアから JAPANESE GRAND PRIXへの来場が急成長しています。



JAPANESE GRAND PRIX海外観戦者の国別来場比率



\* 出典: 2023 JAPANESE GRAND PRIX 来場者アンケート / FORMULA 1 JAPANESE GRAND PRIX 2023 Spectator Research

## 経済波及効果

# 217 (全国) 億円

F1®開催による経済波及効果は約217億円に上り、毎年開催することで大きな経済効果を日本にもたらします。

### 2023年のJAPANESE GRAND PRIX開催における経済波及効果

効果の種類	全国	三重県
直接効果	101億円	46億円
間接効果	116億円	22億円
雇用創出効果	1,611人	621人



■経済波及効果…生産誘発効果(生産額)・相付加価値誘発効果(給与等)・雇用創出効果(雇用者数)  
 項目…宿泊、飲食、土産、交通、運営含む  
 対象…観戦者、参加チーム、運営関係者  
 算出…ホンダモビリティランドが提示した設定条件の下、取得できたデータ範囲内で三菱総合研究所が算出。

海外からのF1<sup>®</sup>観戦客

1人あたりの平均消費額

301,176円

JAPANESE GRAND PRIX観戦客の消費は、  
訪日外国人平均よりも軒並み高額。

一人あたりの滞在期間中消費額

※観戦券代除く



JAPANESE GRAND PRIX観戦客の  
1人あたりの項目別消費金額

	交通費	宿泊費	飲食費	買物
国内観戦客	24,961円	26,567円	25,640円	26,003円
海外観戦客	52,619円	138,438円	47,981円	62,138円
訪日平均	24,078円	73,674円	47,981円	56,098円

\* 出典：観光庁 訪日外国人消費動向調査2023年  
2023 JAPANESE GRAND PRIX 来場者アンケート

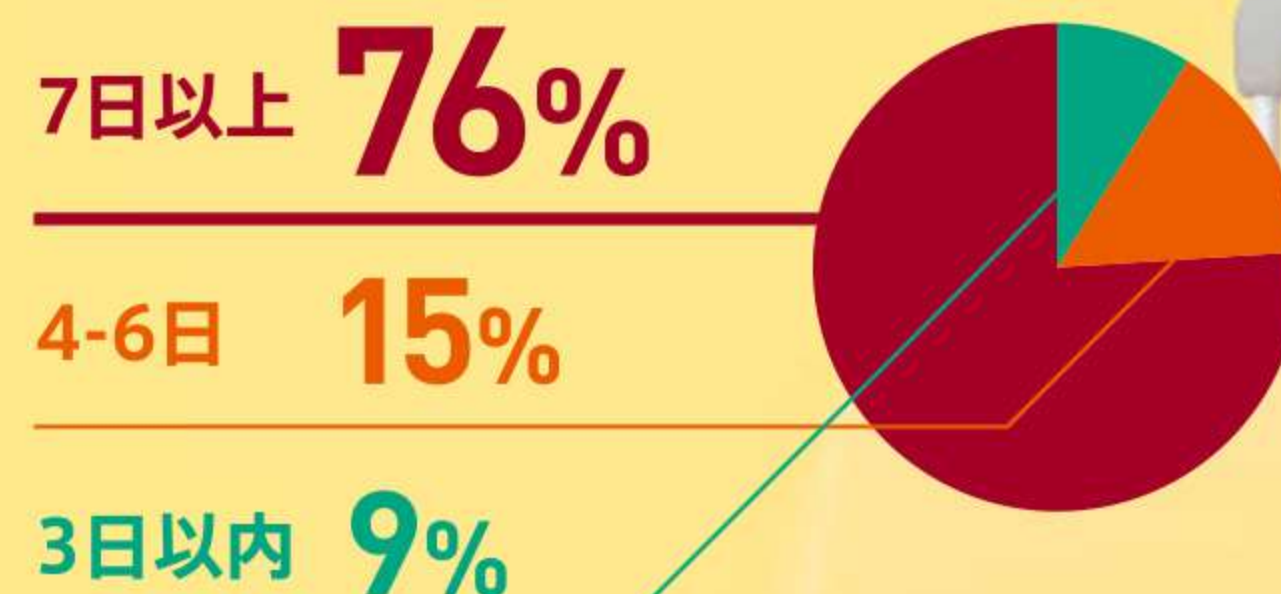
海外からのF1<sup>®</sup>観戦客

国内での7日間以上の滞在率

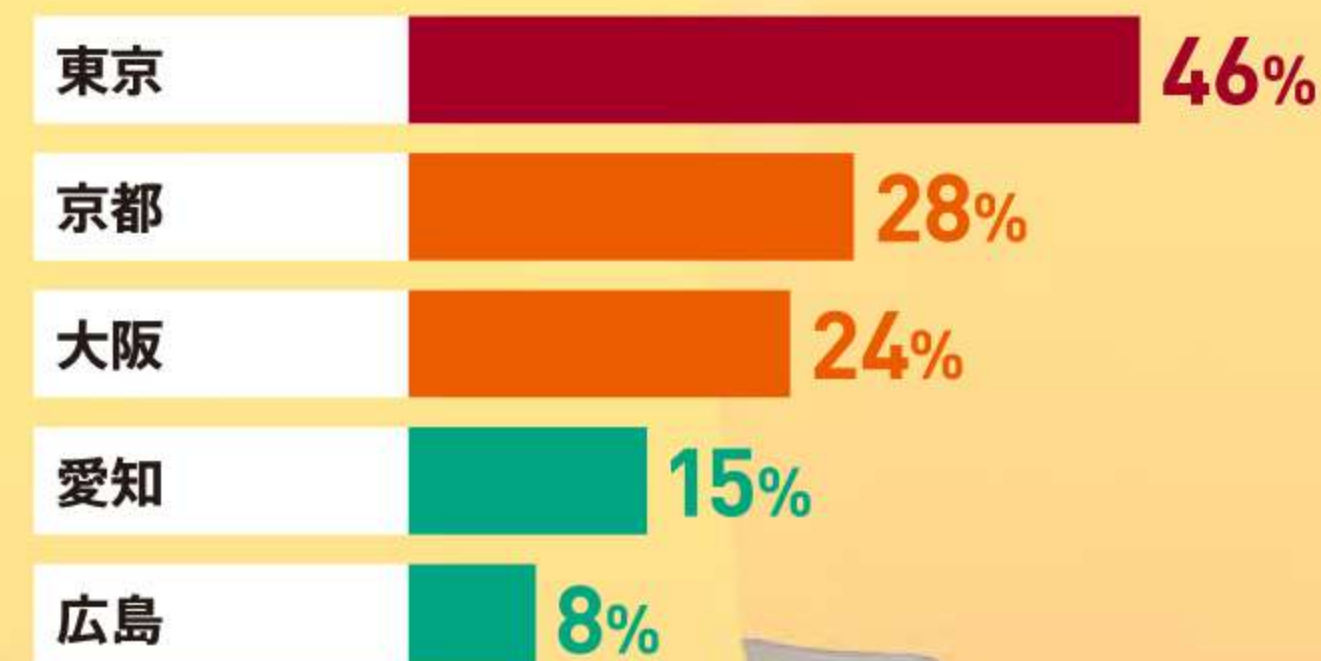
76%

海外観戦客の76%が国内に1週間以上滞在し観光地を巡ります。  
F1<sup>®</sup>観戦をきっかけに日本の食・文化を体験しています。

F1<sup>®</sup>海外観戦者の国内滞在日数



F1<sup>®</sup>海外観戦者の国内の訪問先



\* 出典：2023 JAPANESE GRAND PRIX 来場者アンケート